

政策コメンテーター報告(第2回)(意見照会期間:2016年10月31日～11月11日)

分野:	人材育成・働き方	
氏名:	落合 寛司	西武信用金庫理事長
	質問事項	記述式回答
	予測される経済・社会的な構造変化(2030年)	(300字以内で回答してください)
(1)①	2030年には、各分野において、どういった経済・社会的な構造変化が予測されるでしょうか。	2030年の人口統計によると、無住居地区が200地区、現在より人口が半分以下になる地区が800から900地区になるとの予測もある。また、2025年には、65歳以上の人口一人に対し納税者は1.8人になるとの予測もある。このように少子高齢化による労働力不足や税額不足は、顕著である。元気な高齢者や女性の社会進出が大変重要である。
	目指す経済・社会の姿(2030年)	(200字以内で回答してください)
(1)②	また、そうした構造変化を踏まえ、我が国が目指す経済・社会の姿はどうあるべきでしょうか。	年齢による定年制や終身雇用制の考え方を緩和し、働く意欲のある高齢者や女性が社会進出しやすい態勢を確立すべきである。現在当金庫は、数年前から年齢による定年を無くしたり、人事異動は自分で出来る体制を確立するとともに、中途採用者も年齢に関係なく採用し組織の活性化が図られた。このことは、無駄な医療費の削減にも貢献できると思う。
	今後取り組むべき構造改革(2016年～2030年)	(300字以内で回答してください)
(2)	上記(1)で挙げられた経済・社会の姿を実現するためには、足元から今後に向けてどのような構造改革に取り組むべきとお考えでしょうか。基本的な考え方や具体的な方法がございましたらご記載ください。	上記(1)②に記載済み

政策コメンテーター報告(第2回)(意見照会期間:2016年10月31日～11月11日)

分野:	地域経済
氏名:	落合 寛司 西武信用金庫理事長
質問事項	記述式回答
予測される経済・社会的な構造変化(2030年)	(300字以内で回答してください)
(1)① 2030年には、各分野において、どういった経済・社会的な構造変化が予測されるでしょうか。	2030年のデータは、ありませんが現状において将来の地域経済における大きな課題は、地域の企業数が大幅な減少をしていることです。特に休業や廃業は、倒産件数の2.8倍(帝国データより)となっており、今後の雇用減や税収減の面から大変な課題となっています。このことを解決せずに放置することは、地域経済の疲弊につながって行くと思われる。特に、TPPの合意により東京で産業のグローバル化が進めば、さらに大きな課題となる。なぜならば、廃業や休業の大きな原因は、同族企業に対する高税率(最大55%)の納税が出来ず廃業を決断しているからである。そして、少子高齢化が更にその数値を引き上げている。わが国企業数の99.8%が中小企業であり、雇用の70%であることを考えると早急に対応すべきである。
目指す経済・社会の姿(2030年)	(200字以内で回答してください)
(1)② また、そうした構造変化を踏まえ、我が国が目指す経済・社会の姿はどうあるべきでしょうか。	地域経済の主役である地域の企業が元気に経営し、休業や廃業をしなくてよい社会の実現を確立すべきである。そのことにより、地域住民の雇用と生活の安定を実現できる地域社会を目指す必要がある。わが国がグローバル化を強化して行くのなら税制等のルールもグローバル水準にすべきである。
今後取り組むべき構造改革(2016年～2030年)	(300字以内で回答してください)
(2) 上記(1)で挙げられた経済・社会の姿を実現するためには、足元から今後に向けてどのような構造改革に取り組むべきとお考えでしょうか。基本的な考え方や具体的な方法がございましたらご記載ください。	中小企業の休業や廃業防止策(1)事業承継税制を活用しやすくし、ロンドン型の繰り延べ制度を活用した相続納税方法にすべきである(2)同族企業の後継者難を改善するために所有と経営を分離し、同族で無い内部の後継者が経営を承継しやすくする(所有者は配当を受け、経営者は給与を受けるシステムと税制)